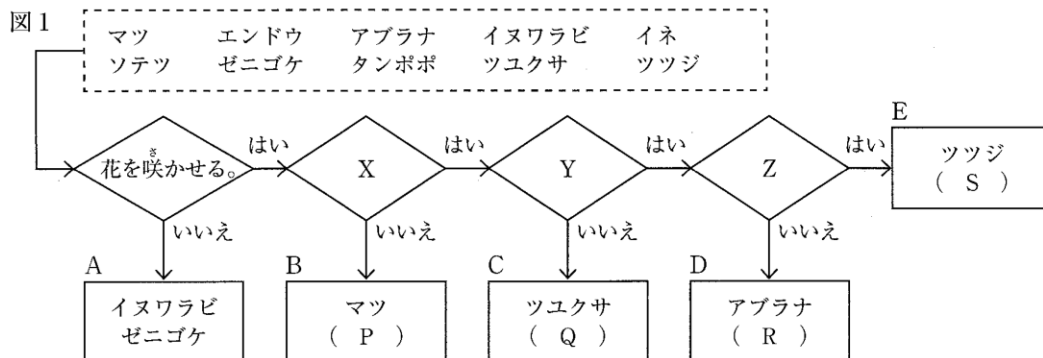


1 植物と動物の分類について、次の問いに答えなさい。

- (1) 図1は、10種類の植物を、◇の中の特徴に注目して、あてはまる場合は「はい」、あてはまらない場合は「いいえ」で答えていくことで、A～Eの5つのなかまに分類したものです。これについて、あとの各問いに答えなさい。

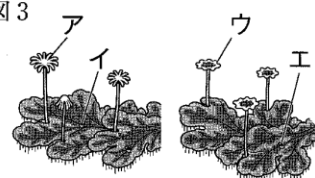


- ① 花を咲かせる図1のB～Eのなかまを、そのなかまのふやし方から何植物といいますか。名称を答えなさい。
- ② 図1のAのなかまについて、図2はイヌワラビの葉の裏側に見られるつくりを、図3はゼニゴケの2種類の株を表したものです。a 図2のつくりを何といいますか。名称を答えなさい。
- また、図3のア～エのうち、b 図2と同じはたらきをするつくりがあるのはどこですか。1つ選び、記号で答えなさい。

図2



図3



- ③ 図1のX～Zには、次のいずれかの特徴が1つずつあてはまります。どの特徴があてはまりますか。それぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 花弁のものがくっついている。 イ 胚珠が子房の中にある。

ウ 雄花と雌花の2種類の花を咲かせる。 エ 子葉が2枚である。

- ④ 図1のYの特徴で分類したCのなかまとC以外のなかま(D・E)には、それぞれ根や葉脈に違いがあります。次のうち、Cのなかまの根や葉脈を模式的に表したものの組み合わせとして最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。



- ⑤ 次のうち、図1のP, Q, Rにあてはまる植物はどれですか。それぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア タンポポ イ エンドウ ウ ソテツ エ イネ

- (1)③ Xの特徴は、種子植物をマツを含む裸子植物(B)と残りの植物である被子植物(C, D, E)に分類するので、胚珠に関する特徴(イ)があてはまります。Yの特徴は、被子植物をツユクサを含む単子葉類(C)と残りの植物である双子葉類(D, E)に分類するので、子葉に関する特徴(エ)があてはまります。Zの特徴は、双子葉類をアブラナを含む花弁が離れている花(離弁花)をつける植物(D)と花弁のものがくっついている花(合弁花)をつける植物(E)に分類するので、花弁に関する特徴(ア)があてはまります。
- ④ 双子葉類(D, E)の根は主根と側根からなり、葉脈は網目状(網状脈)です(ア)。単子葉類(C)の根はひげ根で、葉脈は平行(平行脈)です(エ)。

①	種子	植物
a	胞子のう	
②	ア	
③	X イ Y エ Z ア	
④	エ	
⑤	P ウ Q エ R イ	